



**きくやま ともや**

1975年 兵庫県伊丹市出身  
 1993年 香川大学法学部入学  
 1997年 自動車販売会社(香川県)入社  
 2001年 日進堂入社  
 2003年 同社高松東支店オープン。支店長に就任  
 2005年 住まいの図書館 高松オープン  
 2006年 同社常務取締役就任  
 2008年 同社代表取締役社長就任  
 2010年 住まいの図書館 丸亀オープン

香川を幸せにする人 Vol.11

# HUMAN

## 喜久山 知哉

株式会社 日進堂  
代表取締役 社長

日本一、笑顔を作る  
住宅会社を目指して。  
三位一体の揺るぎない絆を求めた  
不転のチャレンジ。

自動車販売会社から転身、住宅の世界へ。  
業界のイメージを払拭し、クレームのない家を追い求めて掴んだものは？

「日本一、笑顔を作る住宅会社を目指して」を標榜する株式会社 日進堂。香川県で注文住宅や分譲住宅をはじめ、分譲地、不動産、リフォームまで。住まいづくりをトータルでコーディネートし、住む人がいつも笑顔になるような暮らしを創造するライフパートナーだ。

住宅関連の資料やサンプルが豊富に揃う、体感型のショールーム「住まいの図書館」や、グループ会社を含めて県内外で7店舗を展開し、昨年は新築の契約棟数だけで201組の笑顔を築いた。

代表の喜久山知哉社長は、笑顔を作る秘訣について、「クレームのない家づくりと絆」の二つを、インタビュー中に何度も口にした。実はその二つには、氏が過去に味わった苦い経験が投影されている。

決して崩壊することのない信頼関係を今度こそ築くために。自動車販売会社から26歳で転身、住宅業界へ飛び込んだ喜久山社長の譲れなかった想いや、家づくりへの姿勢などについて語っていた。

若き日のショックから学んだ  
真の信頼関係とは？  
そして再生の道へ。

「大学時代に居酒屋でバイトしたのがきっかけで、お客様と接することが大好きになり、卒業後もお客様との笑顔が見られる仕事に就きたくて、県内の自動車販売会社に勤務しました。念願が叶い、毎日をお客様とのコミュニケーションに動かし、信頼関係を結ぶたびに喜びを感じていたんですが、ある時。メーカーの技術的なトラブルで、販売した車に問題が発生したんです。本当にショックでしたね。自分は何の落ち度もないのに、会社が悪く言われることに対して。まだ自分が悪く言われる方がマシだと思いました。結局、自分が扱う商品に自信が持てなくなり、自動車販売会社を去ります。そして、次の働き先はサービスと商品の両方で、お客様に100%の笑顔をもたらす場所に行こう。商品は自分の目がしっかりと行き届き、携われるものにしよう。とリスタートを決めました。職種は別に何でもよかったのですが、僕の好きなようにさせてくれる。という希